

個人サンプラーによる測定を行う者となるための講習（案）
（作業環境測定士を対象とした場合）

平成25年度「作業環境における個人ばく露測定に関する実証的検証事業報告書」をもとに作成

教育科目と所要時間（第1種作業環境測定士取得者の場合の1つのイメージ）

科目	範囲	時間
有害因子に関するリスクアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクアセスメントの概論 ・ハザードの特定 ・リスクアセスメントの実施 ・アセスメント(評価)に対応する措置の策定 	2.0
個人サンプラーによる測定の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質管理と測定 ・<u>個人サンプラーによる測定</u>の目的と特性 	1.0
個人サンプラーによる測定のデザイン(事前調査、同等ばく露グループの設定等)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査のやり方と調査項目 ・定性的なリスクアセスメントの実施(コントロールバンディング) ・空气中濃度の簡易的な推定法 ・同等ばく露グループの選定 ・測定の実施日および実施時間 (TWA、STEL など) 	4.0
個人サンプラーによる測定特有の測定(サンプリング・分析)	<ul style="list-style-type: none"> ・サンプリング機器の基礎知識とその選定方法 ・<u>(吸入性粉塵のサンプリングや蒸気と粒子が共存する高蒸気圧物質のサンプリングの考え方を含む)</u> ・<u>個人サンプラーによる測定</u>の定量下限の確認(分析方法の選択) ・評価手法 ・<u>個人サンプラーによる測定時の安全上の配慮</u> 	2.0
測定頻度、点数等の緩和の判断	<ul style="list-style-type: none"> ・評価に基づく緩和の考え方 	1.0
作業環境改善、作業改善の提案(評価の進め方および改善措置)	<ul style="list-style-type: none"> ・改善に必要な測定方法、改善のために必要な基礎知識 ・測定結果および評価の記録、報告(報告書の書き方含む) 	2.0
関係法令等	<ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生法、化学物質等による危険有害性等の調査等に関する指針など 	2.0
演習	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>個人サンプラーによる測定</u>のデザインから評価までの演習 	2.0
修了試験		1.0
計		17.0

第1種作業環境測定士でない場合は、一般的な環境測定(2.0h)、評価区分の決定(2.0h)程度の追加が必要